

A **こども支援課長** 子どもの前での夫婦げんかも、面前DVとして心理的児童虐待に当たると、警察への通報により児童虐待として通告される例が増えている。30年度は市民及び職員向けに、DVや児童虐待が子どもに及ぼす影響についての講演会を開催し、今年度は児童虐待防止のパンフレットを自治会に回覧してもらった。虐待に対する理解を深めることで未然防止に努めている。

交通安全設備整備事業

Q 市長は、交通安全を重要な施策としている。新たに3か年で進めている整備と、これまでの方法による整備の違いは。また、執行率が低いのではないか。

A **安心安全推進課長** 3か年に分けて行う施工については、30年度に松ヶ丘と南町の路面標示の補修等を行った。これとは別に自治会やPTAなどからの要望による危険箇所の施工を行っている。執行率が低いのは、設計金額よりも安価に契約できたためであり、各地域からの要望や把握している危険箇所は全て工事をした。

防災行政無線デジタル化推進事業

Q 既に更新した地域の方々からの声や反応は。

A **安心安全推進課長** 機械の声による放送に変更したため、放送当初は違和感がある等の意見があった。速度の調整等の工夫をし、聞き取りやすい放送に努める。



防災行政無線子局

教育相談・いじめ防止対策事業

Q SNS利用のルールづくりについての実践提案授業研究会の出身は。

A **教育センター所長** 子どもたちにとって非常に危険な悪用例を先生から教示した後、どのようにSNSを使用すれば安全かを考えさせるような授業提案である。

Q ハイパーQUTテストで要支援群となった子どもへの対応は。

A **教育センター所長** 面談や聞き取り等をすぐに実施している。ハイパーQUTテストの後、これの活用研修会を行っており、緊急に支援する必要がある子どもの共通理解を図った。

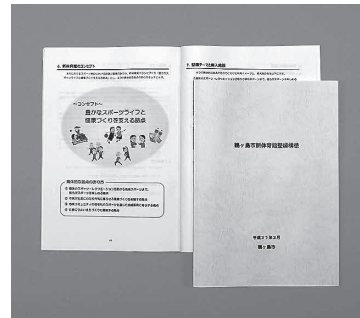
新体育館整備構想調査事業

Q 策定した構想をどう生かすか。

A **生涯学習スポーツ課長** 整備構想後の基本計画や導入可能性調査の策定に際して活用する。

Q 建設を前提とした場合、埼玉県とはどのような協議を進めるのか。

A **生涯学習スポーツ課長** 県の整備動向を注視し、県が整備する施設と機能が重複しないように検討を進める。



鶴ヶ島市新体育館整備構想

特別会計

国民健康保険

Q 特定健康診査と特定保健指導の状況及びその効果は。

A **保健センター所長** 30年度の特定健康診査の受診率は、34・7割で、前年度と比べて微減している。特定健康診査受診者のうちの該当者を行う特定保健指導の受診率は、年によって上下している。生活習慣病の予防は、全ての慢性疾患の予防につながるため、今後も受診率向上策を講じる。

後期高齢者医療

Q 保険料の収納状況は。

A **保険年金課長** 現年度分は前年度比0・18割増の99・61割で、埼玉県内63市町村中の23位、滞納繰越分は36・87割で、県内33位である。

介護保険

Q 介護を必要とする方が増えているが、市の対応は。

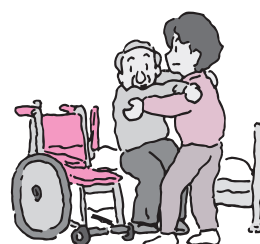
A **高齢者福祉課長** 在宅生活の希望者が多いことから、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の更なる新設などにより、自宅でサービスが受けられるよう事業を進めている。

Q 本人や介護者の状況により訪問介護（生活援助）が利用できないと、介護サービスの低下と捉える人もいるのではないか。

A **区画整理課長** 建物移転は累計242戸で97・6割、仮換地指定は92・3割、道路築造は90・6割の進捗となっている。

一本松土地区画整理事業

Q 30年度末の区画整理事業の進捗状況は。



特別会計決算	
国民健康保険	
歳入	73億2019万円
歳出	71億8421万円
後期高齢者医療	
歳入	7億1260万円
歳出	7億1000万円
介護保険	
歳入	42億1572万円
歳出	39億9903万円
一本松土地区画整理事業	
歳入	2億8555万円
歳出	2億4405万円
若葉駅西口土地区画整理事業	
歳入	3億1316万円
歳出	2億6974万円